

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2024年度第1回常任幹事会議事要録

日 時：2024年4月26日（金） 14時～15時37分

場 所：Web会議（椋山女学園大学）

出 席：椋山女学園大学（脇田泰子、川井幸治、川隅知美）、愛知工業大学（榎岡憲司）
金城学院大学（田中宏樹）、愛知工科大学（松本吉生）、愛知学泉大学（高橋明美）、
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田正江）、南山大学（石井知好、服部真千代）、
名城大学（川村信一）

8校11名

議事に先立ち、2024年度理事校の椋山女学園大学（川井）より、東海地区協議会会則に基づき、2024年度第1回常任幹事会を開催する旨の説明があった。議事進行は議長として選出された椋山女学園大学図書館長（脇田）が担当し、出席者の自己紹介があった。

< 1 > 2024年度東海地区協議会総会について

I. 総会議事次第

理事校（川井）より、2024年度東海地区協議会総会の開催について、資料（p.1）に基づき、報告があった。

II. 報告事項

1. 2023年度東海地区協議会事業報告

2023年度理事校（川井）より、資料（p.2～4）に基づき、報告があった。また、「学生協働フェスタ in 東海 2023」について、サポートミーティング幹事校（田中）より、資料（p.4）に基づき、報告があった。

2. 2023年度東海地区協議会研究会事業報告

2023年度研究会運営委員長校（田中）より、資料（p.5～6）に基づき、報告があった。

3. 2023年度協会会務報告

(1) 協会関係事項報告

1) 加盟校等及び協会役員校、委員会及び協会関連団体委員

理事校（川井）より、資料（p.7～10）に基づき、報告があった。

2) 2023年度委員会報告

①協会賞審査委員会

協会賞審査委員校（守田）より、資料（p.11）に基づき、報告があった。

②研究助成委員会

理事校（川井）より、資料（p.11～12）に基づき、報告があった。

③国際図書館協力委員会

理事校（川井）より、資料（p.13～15）に基づき、報告があった。

- 3) 私立大学図書館協会 2024 年度西地区部会総会及び研究会について
理事校（川井）より、資料（p.16～17）に基づき、報告があった。
- 4) 第 85 回（2024 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会について
理事校（川井）より、資料（p.18）に基づき、報告があった。

(2) 協会関連事項報告

理事校（川井）より、資料（p.19～20）に基づき、報告があった。

III. 審議事項

1. 2023 年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

2023 年度理事校（川井）より、資料（p.21～22）に基づき東海地区協議会決算（案）、2023 年度研究会運営委員長校（田中）より、資料（p.23）に基づき、東海地区協議会研究会決算（案）について説明があった。

続いて、2023 年度監事校（榎岡）より、資料（p.24）に基づき説明。2023 年度決算（案）について 4 月 16 日に会計監査を行い、証憑書類等を含め適正であると認められたとの報告があり、決算（案）を承認した。

2. 2024 年度東海地区協議会役員校および委員長校（案）

理事校（川井）より、資料（p.25～26）に基づき説明があり、承認した。

3. 2024 年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校（川井）より、資料（p.27～28）に基づき説明があった。「学生協働フェスタ in 東海 2024」については、サポートミーティング幹事校（田中）より、資料（p.29）に基づき開催概要（案）の補足説明があり、承認した。

4. 2024 年度東海地区協議会予算（案）

理事校（川井）より、資料（p.30～32）に基づき説明があった。2024 年度加盟会費は「私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会費に係る申し合わせ事項」を適用する旨補足説明があり、承認した。

5. 2024 年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）

研究会運営委員長校（田中）より、資料（p.33～34）に基づき説明があり、承認した。

6. 協会賞審査委員会委員の選任方法について

理事校（川井）より、資料（p.35～36）に基づき説明があり、提案どおり、承認された。

【提案事項】

- ・東海地区協議会から協会賞審査委員会委員を選出しなければならない場合は、委員

には監事校を充てることとする。

7. 2025 年度西地区部会研究会当番校の選出について

理事校（川井）より、資料（p37）に基づき説明があった。委員から以下のような意見があったが、協議の結果、提案どおり、承認された。

・東海地区協議会では、スリム化により年 1 回、研究会、実務担当者研修会、見学会の中から 1 つを実施することになっているが、2025 年度は西地区部会研究会と兼ねて東海地区協議会研究会を実施するということか。

・西地区部会研究会はテーマを決め、発表者を募集して開催しているが、ローテーションを組んで発表者を選出している京都地区以外の地区では発表者を選出することが困難な状況が続いている。東海地区協議会研究会のような形式で実施可能か相談の余地はあるのか。

【提案事項】

・西地区部会研究会と東海地区協議会研究会との合同開催（開催時期については別途相談）とし、2025 年度の東海地区協議会研究会主幹事校である愛知産業大学に西地区部会研究会当番校を担当していただく。

8. 2024 年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・役員校・当番校等（案）

理事校（川井）より、資料（p. 38～40）に基づき説明があり、承認した。

9. 西地区部会ならびに東海地区協議会におけるスリム化の検討について

理事校（川井）より、資料（p. 41）に基づき、説明があった。スリム化を検討し、結論が保留となっている『館灯』に関する諸課題について、東海地区協議会スリム化ワーキンググループを解散し、2024 年度は研究会運営委員会で検討後、常任幹事会にて審議することで承認された。

10. その他

なし

< 2 > その他

審議事項

1. 2024 年度図書館管理・運営実務責任者会議開催（案）について

理事校（川井）より、資料（p. 45）に基づき、対面形式で開催される東海地区協議会総会終了後に予定しているとの説明があった。管理者レベルでの情報交換会とし、参加申込時にテーマを募ること、希望テーマや意見が少なかった場合は、過去の講演会事後アンケートで希望のあったテーマの中から理事校が決定し、実施することで承認された。

以 上